

一宮市立市民病院循環器内科に通院中または過去に通院された患者さん
またはご家族の方へ
循環器内科の臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「ペースメーカーリードの植え込み後の閾値と障害電流の関係」に関する臨床研究を実施しております。
このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	心臓ペースングシステム留置時の障害電流の有用性の検討
所属（診療科）	循環器内科
研究責任者（職名）	山内 良太（医長）
研究実施期間	倫理委員会承認日～2030年3月31日
研究の意義・目的	ペースメーカーリード植え込み時は一時的に閾値が悪くなることもあり、再留置ではなく待機することで改善することがある。改善を予測することができれば手技時間を短縮することにつながる。
対象となる患者さん	2026年4月1日から2028年3月31日までにペースメーカ植え込みを行った患者さん。
利用するカルテ情報	術前の採血、心電図、心臓超音波検査、レントゲン検査など。術中の手技内容の詳細なデータ（リードの閾値、波高値、障害電流、留置回数など）。術後の採血、心電図、心臓超音波検査、レントゲン検査やペースメーカチェック時の情報。
研究方法	診療データを基にした後ろ向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院循環器内科 〒491-8558 愛知県一宮市文京2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

本研究では、通常の診療において得られた診療記録（カルテ）や検査結果などの情報を利用して実施します。そのため、新たな診察や検査、検体の採取などは一切行いません。
研究にあたっては、患者さんを直接特定できる個人情報（氏名、住所、IDなど）を削除・匿名化したうえで、統計的に処理・解析を行います。
得られた研究成果は、医学・薬学の発展に寄与することを目的として、学会発表や論文投稿等に利用されることがありますが、個人が特定されることはありません。
ご自身の診療情報等を本研究に利用されることをご了承いただけない場合は、研究対象とはいたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。
ご自身が本研究の対象かどうか不明な場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
研究事務局で診療録等を確認し、対象かどうかをご説明します。
研究への参加を希望されない場合は、お申し出以降、可能な範囲で研究への利用を中止します。
なお、お申し出により診療上の不利益を受けることはありません。